

専門家会合の主要ポイント
(開催前配布済資料)

○目的：

船員を取り巻く諸課題についてアジア地域の関係国が共通認識を形成し、これらの課題を克服するための国際的な取組みを検討するものです。

○期待される成果等：

国際的な船員供給地となっているアジア地域の関係国において船員を取り巻く海運環境や課題について共通の認識を形成し、それらの船員養成の過程における船員資質の向上を図る国際的な取組みにより、

- 1) 日本商船隊を含む国際海上輸送の安全及び安定性の確保、
- 2) 船員供給国の経済基盤の強化、
- 3) 海洋環境保護の推進

を図ることが期待されます。

このため、今回の会合では、参加国の船員養成に関する現状等に関する情報交換や意見交換を行い、日本が中心となって船員資質の向上に関するアジア人船員国際共同養成プログラムを策定すること及びそのプログラムを参加国のハイレベルで承認することを提案することとしており、この提案に対する基本的な合意の形成が成果として期待されています。

○背景等：

- ・ 世界的に海運は活況、アジア地域も同様。そのため、世界的に船員が不足する見込み。したがって、船員の主要な供給地であるアジア地域における船員需要も逼迫するものと予想。
- ・ 日本商船隊も保有船舶の拡充を見込んでおり、船員確保が必要。日本商船隊の船員は、ほとんどが外国人船員であり、特にアジア人船員が7割以上を占有。
- ・ 日本人船員の養成は、日本の国策の重点課題として取り組んでいる一方で、資質の高いアジア人船員を確保するということは、極めて重要な課題。
- ・ また、日本近海を含むアジア地域では海難が発生。海難原因の8割が人的要因に起因すると言われており、不足する船員の数のみを確保するだけでは海上輸送の安全等が確保できないことから、アジア地域において質の高い船員を養成することが重要。